



令和2年度
甲府市立相川小学校

校内研究会のあゆみ

研究テーマ 今日的課題に対して、実践的に学ぶ
～教師の力量形成をめざして～

目次

- 1 概要
- 2 第二回校内研究会
- 3 第三回校内研究会
- 4 第四回校内研究会
- 5 第五回校内研究会
- 6 第六回校内研究会
- 7 第七回校内研究会
- 8 第八回校内研究会

相川小学校

研究テーマ 今日的課題に対して、実践的に学ぶ
～教師の力量形成をめざして～

1 研究の概要

昨年度まで全小英山梨大会を発表の場として、日頃から授業で使える外国語科（活動）の授業研究を行ってきた。今年度は、この財産を受け継ぎつつ、新学習指導要領の改訂に応じた教科書・教材の刷新を受けて、私たち自身が今後の教育活動に生かせることや直近の課題を対象に研修会を設定した。コロナ禍で、限られた時間と講師や場の設定に工夫が求められたが、諸機関のサポートを受けて研修会を実施した。

2 主な実践内容

(1)外国語科（活動）研修【早川・河西 県指導主事】

New Horizon を使って、Over the horizon やピクチャーカード等の扱い方を学習した。特に、Enjoy Communication では児童同士のやりとりの流れが丁寧に記載されているが、その分気付きや発見を引き出していくことが難しい。慣れてきたら、流れを先に設定せず児童から引き出して学習構成をしていく。実態に合わせた Goal の設定や録画を生かしたパフォーマンス評価と市販テストの活用や相手に伝わるような「書くこと」を確認した。

(2)プログラミング教育研修【岡田 センター指導主事】

プログラミング教育は、横断的課題だが、まずは学習指導要領に例示されている単元等の実施を基本にどのように学習を仕組み、展開の仕方等を学んだ。実習としてビジュアル型プログラミング言語 Scratch とロボット教材・基盤などの Mesh の学習を行った。特に、後者は、A-②身の回りにある電気の性質や働きを利用した道具の実習に役立った。

(3)Q-U事例研究会【品田笑子 都留文科大】

学期初めに実施したQ-Uの分析をしながら、今後の対策を研修した。特に、低中高の事例を4群に分ける時の蛍光ペンでの整理の仕方から、具体的に群に属する子どもの特性を理解し支援の仕方を学習した。各クラス毎の具体的な分析を行った。

(4)表現運動（学習改善の事例）実技講習会【中村和彦 倉茂花苗 山梨大学】

運動会での表現運動構成の一助となるように「夢中になる遊びが子どもの能力を伸ばす」というテーマの下、中村教授からは、「楽しい体育授業づくり」について講義をいただき、「ゴリラパンダ」「パプリカ」の実技講習を行った。

(5)オンライン授業の実施に向けての研修会【フォネット】

Google Meet を使って、操作方法等を研修した。Google classroom で、共有リンクを作成し音声とビデオでの会議、グループチャットや提出物のやりとりの仕方など職員同士で実技をしながら研修を行った。研修後、実際にオンラインによる学習会（児童対象）、オンライン職員会議を行い、研修の成果を確認した。

3 成果と課題

本年度より「仮説検証型」の従来型校内研から、「課題解決トピック型」の校内研に変更した。多忙化の改善のため、校内研に要する時間は、60分間に限定した。本年は、コロナ禍での変則的な学習が行われたが、来年以降学校現場では、この姿が定番となっていくことも予感される。

第2回校内研究会

司会・記録：6年

場所：職員室

時間：3:00～4:00

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- | | | |
|---|-------------------|---------|
| 1 | はじめのことば | (司会) |
| 2 | 校長先生の話 (講師紹介含) | |
| 3 | 早川優子指導主事 (県教委) の話 | |
| 4 | 研修会 | |
| | ①新教材・外国語活動室の使い方 | (浅利) |
| | ②授業を実際に進めてみて | (弦間・鷹野) |
| | ③講義 | (早川) |
| | ④質疑・応答 | |
| 5 | おわりのことば (お礼を兼ねて) | (教頭) |

外国語科の新教材について『NEW HORIZON ELeментарy English Course』の活用のポイントを学習します。年度初めですので、教科テストや書くことへの扱い等についても学習します。早川先生から、提案を頂き、質疑応答をしながら、学習しましょう。

「指導案通りに進めると、量的に大変ではないか。」「言語学習として積み重ねが大切になってくるが、単語帳やノートなどどのように扱ったよいか。」「評価としての市販テストの活用のあり方」のようなことが考えられます。

また、昨年度から懸案であった、外国語でのルーブリック評価のあり方についても日常の授業でどのように利用できるか考えていきたいと思えます。

第3回校内研究会

司会・記録：5年

場所：PC室

時間：3:40～4:30

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- | | | |
|---|----------------------|------|
| 1 | はじめのことば | (司会) |
| 2 | 校長先生の話 | |
| 3 | 資料と講師の紹介 | (河西) |
| 4 | 岡田幸久指導主事(総合教育センター)の話 | |
| 5 | 研修会 | |
| | ①実習・講義 | (岡田) |
| | ②質疑・応答 | |
| 6 | おわりのことば(お礼を兼ねて) | (教頭) |

今年からプログラミング教育が、小学校段階で必修となりました。「プログラミング教育」は、情報活用能力の育成を図るために、各教科等の特質に応じて児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身につけさせる学習活動を計画的に実施することになります。

プログラミング教育は、横断的課題ですが、まずは学習指導要領に例示されている単元等の実施を基本にどのように学習を仕組み、展開の仕方などを考えます。

A-①プログラミングを通して、正多角形の意味を基に正多角形を各場面【算数5年】

A-②身の回りにおける電気の性質や働きを利用した道具があること等をプログラミングを通して学習する場面【理科6年】

A-③「情報化の進展と生活や社会の変化」を探究課題として学習する場面

【総合的な学習の時間】

A-④「まちの魅力と情報技術」を探究課題として学習する場面【総合的な学習の時間】

A-⑤「情報技術を生かした生産や人の手によるものづくり」を探究課題とする学習場面

【総合的な学習の時間】

パソコン室のタブレットを利用して、子どもたちと教室でも利用する場合の実習をします。また、現在甲府のパソコンで利用可能なアプリを紹介していただきます。できるだけ具体的な指導に結びつくような学習会になるように積極的にご参加ください。

第4回校内研究会

司会・記録 : 4年

場所 : 職員室または
コモンスペース

時間 : 3:15 ~ 4:30

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- 1 はじめのことば (司会)
- 2 校長先生の話 (講師の紹介)
- 3 品田 笑子先生(都留文科大学非常勤講師)の話
- 4 研修会
 - ①学級集団の理解と対応 (品田)
～今こそQ-U結果を活用しよう～
 - ②ワークショップ
 - ③質疑・応答
- 6 おわりのことば(お礼を兼ねて) (教頭)

週末から夏期休業になります。短い1学期でしたが、子どもたちと学校で学べる喜びと学習する日々の楽しさを感じていたことと思います。そんな貴重な合間をぬって実施したQ-Uの分析結果が届きました。なお、資料の検討会は、2学期初日になります。

そこで、夏期休業中にこれらの資料を読み込んでおいてください。資料には、「学年集計表」「学級集計表」があります。後者には、『Q-Uの結果のまとめ〈学級満足度・学校生活意欲〉』『Q-U学校生活意欲プロフィール〈やる気のあるクラスをつくるためのアンケート〉』『Q-U回答一覧表〈Aやる気のあるクラスをつくるためのアンケート B いごちのよいクラスにするためのアンケート〉』があります。

品田先生のガイド資料を通読していただき、「Q-U結果を活用するコツ①」を参考に、レッドゾーンの確認、要支援群の児童があれば情報を整理しておいてください。また、4群に分布する児童・生徒の特徴から考えられる学級の状態を整理しておいてください。できれば、学年内で互いのクラス同士の結果を読み合いをして意見交流をしておいていただけるとありがたいです。当日、ワークショップができれば、先生方の協同作業を通して具体的なQ-Uの活用を体験したいと考えています。現時点では、東京から品田先生をお招きできる予定です。

第5回校内研究会

司会・記録 : 3年

場所 : 体育館

時間 : 3:50 ~ 4:50

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- 1 はじめのことば (司会)
- 2 校長先生の話 (講師の紹介)
- 3 中村 和彦先生(山梨大学教育学部長)の話
倉茂 花苗先生(特任助手)
- 4 研修会
 - 〈1〉「表現リズム遊び及び表現運動について」理論 (中村)
 - 〈2〉実技演習(パプリカ・ゴリラッパンダ等) (中村・倉茂)
 - 〈3〉質疑・応答
- 5 おわりのことば(お礼を兼ねて) (教頭)

今日から2学期です。研修会のお知らせです。猛暑による熱中症の危険の高まる中、依然コロナ対策での制限による学習改善やアイデアが求められています。1学期末、校長先生のご尽力により、体育(表現運動)の一助になればと中村先生による講習会が実現しました。日常の体育でも応用ができそうです。下記の準備をしていただき、万全の体調で参加ください。

持ち物・服装

- ①運動のできる服装
- ②うわばき
- ③水とう
- ④タオル
- ⑤マスク

※熱中症対策として、水分補給場所を設置します。

第6回校内研究会

司会・記録：2年

場所：職員室

時間：3:50～4:50

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- 1 はじめのことば (司会)
- 2 校長先生の話 (講師の紹介)
- 3 研修会
〈1〉 Google Meet の操作等の実技指導
〈2〉 質疑・応答
- 5 おわりのことば(お礼を兼ねて) (教頭)

前回の校内研究から2ヶ月が過ぎました。今回と次回〈12/23〉は、コロナ対策に備えての研修です。未体験の操作を学び、楽しみながらデジタル環境を利用していきましょう。

今回は Google で、エンタープライズレベルのビデオ会議機能の利用体験をします。Google アカウントさえあれば、100人まで参加できるオンライン会議を作成して、最長60分間の会議を開催できます。

会社や学校などの組織では、組織内外のユーザーが250人まで参加できる会議や、ドメイン内の10万人までのユーザーが視聴できるライブ配信などの高度な機能をご利用できるそうです。

開始前に

後日、各自に配布する「WEBカメラ」
「イヤホンマイク」をセットして、パソコンを
立ち上げておいてください。

※ Google chrome をデスクトップに貼り付けてありますか。
Google アカウントは、取得しましたか。分からない先生は、
藤巻先生、校長先生までご相談願います。

第7回校内研究会

司会・記録 : 1年

場所 : 職員室

時間 : 3:50 ~ 4:50

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- 1 はじめのことば (司会)
- 2 校長先生の話 (講師の紹介)
- 3 研修会
〈1〉 Google classroom の操作等の実技指導
〈2〉 質疑・応答
- 5 おわりのことば(お礼を兼ねて) (教頭)

今回は、Google for Education の一つの中身である Google classroom について学習します。提出物の配布，提出を児童側の立場で体験します。12/1 にフォネットさんのご指導でスマホトラブルのオンライン授業も行われました。また，オンラインでの職員会議を体験することができました。パソコンでつながる世界を，どのように授業に応用できてくるか期待感が持てます。

開始前に

- ① 配布された「WEB カメラ」
「イヤホンマイク」をセットして，パソコンを立ち上げておいてください。
- ② Google classroom から，自分のアカウントでログインした状態にしておいてください。

第8回校内研究会

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

昨年度まで全小英山梨大会を発表の場として、日頃から授業で使える外国語科（活動）の授業研究を行ってきた。今年度は、この財産を受け継ぎつつ、学習児童要領の改定に応じた教科書・教材の刷新を受けて、私たち自身が今後10年間教育活動に生かせるような余裕を生む研修会を中心に研究会を行ってきた。コロナ禍で、限られた時間と講師や場の設定に工夫が求められたが、諸機関のサポートを受けて研修会を行ってきた。

・日時 1月13日 15:50～16:50

・場所 各教室・職員室

司会・記録……特支

【1】はじめのことば(司会)

【2】校長先生の話

【3】討議(研究主任から)

【4】まとめ

【5】おわりのことば(教頭)

【1】本年度は、研修会中心の校内研でした。今日的な課題に向き合い、見識を広げる内容でしたが、その後の教育活動にどのように生かされたでしょうか。具体的に今年の成果や課題をあげてください。

- ・ICT活用によるオンライン会議は今後活用可能
- ・Q-U検査の読み取りと具体的活用は学級経営に有用
- ・オンライン授業や会議、提出物のやり取り等、来年度からICT活用に大変に有効
- ・校内研での講義と市教委の主催した研修で、6年のプログラミング学習を実践することができた。
- ・Q-U検査の結果を生かし、一人一人の児童理解を深めることができた。今後も児童の指導に役立てたい。
- ・教職員全員で共通理解を図れたことで、喫緊の課題に対し同一歩調で考えていくことができた。
- ・Q-U検査結果の見方を学んだことにより、注意してみていくべき児童が学年間でも共有できた。

- ・ICT活用(一人1台等)が現実的に可能になりつつある今、実践的な研修に時間をかけることは貴重な機会であった。
- ・Q-Uの基本的な理解と利用が少しでも図られたことは有意義であった。検証として2回目ができるとうれしかった。プログラミング学習も同様に教師が試してみる中で学べるきっかけが大切であった。

【2】従来の研究授業を中心とした「仮説検証型」の研究会ではなく、「課題解決トピック型」の校内研は、多忙化やコロナ禍での研修会のあり方を提案するものでした。限られた時間（60分）で、必要とされる課題に対して研修会を企画しました。来年度以降、まだこの状況は続きそうですが、来年度の校内研に向けて意見を願います。

- ・校内研究会の時間確保は大切だが、現実的な運用は理解できる。
- ・60分を無駄なく使う意識がみられた。
- ・仮説設定は「最初に結論ありき」で、概念規定に時間がかかる。
- ・「明日から使える」ということも大切。
- ・限られた時間内での、すぐに活用できる内容はとても有効。×5
- ・今直面する課題に伝えてくれる内容のものだったのでありがたかった。
- ・様々なことを早急に身に付けなければならない中で、すぐに活用できる内容を限られた時間の中で広く学べたことは大変有意義だった。

・コロナ禍の特殊な状況に対して、校長先生から率先して、課題に向き合える環境を示唆して頂いての校内研究だった。来年度もこの状況は、続きそうである現実を踏まえると「課題解決トピック型」の校内研の在り方も一つの方法として考えられる。

【3】来年度の校内研究会で取り組んでみたい内容がありましたら、具体的に書いてください。なお、新年度は、新しいメンバーでの課題について取り組むこととなりますが、参考にさせいただきます。

- ・「民間人からみた今の学校現場」
- ・「笑いとお笑いについて」
- ・「社会人としての素養と行動」
- ・「心の総合支援センター」（臨地研修：60分以上になる。）×3
- ・「立ち会い授業」（外部講師が実際に授業をする。）
- ・「Googlemeetの研修」を再度確認したい。×4

・授業としての教科・領域研究も大切である。同時に、今年のように外部からの講師を招いての研修も得るものが多い。両立できる試みや例として児童と楽しめる相川小の先輩である丸一仙三・仙花（夫婦太神楽）による笑いとお笑いという視点も可能性がある。

【研究同人】

校長	小宮山 尚	2年	小澤 彩子
教頭	篠原 利明	2年	藤巻 良輔
教務主任	乙黒 誉雅	3年	岩下 和美
研究主任	河西 浩	3年	丹澤 麻理恵
教務	鶴田 恵子	4年	保坂 由起
教務	岡田みどり	4年	小澤 一美
教務	手塚 房江	5年	弦間 文
特支	浅利 佳歩	5年	村松 宏美
特支	饗場 公子	6年	岩間 一郎
特支	高野 千佳	6年	越石 実加
特支	秋山 直	養教	高鳥 隆子
1年	小笠原 佐智子	事務	小田切 昌江
1年	稲田 勝子	司書	芦澤 彩

本研究を行うにあたって、山梨県教育委員会・山梨県総合教育センター・山梨大学・都留文科大学・(株)フォネットの講師の皆様へ厚くお礼を申し上げます。

